



## 成田空港の更なる機能強化 滑走路整備計画の概要について

成田空港の更なる機能強化については、2020年1月の航空法に基づく空港等変更許可後、整備計画の具体化に向けて各種調査を進めてまいりました。今般、具体的な滑走路整備計画がまとまりましたので、概要について、お知らせいたします。引き続き、各種調査等を進め工事計画を具体化してまいります。

更なる機能強化に係る環境対策（防音工事、移転補償等）についても、速やかにかつ着実に実施するとともに、引き続き環境への負荷軽減に取り組み、地域住民の皆様の生活環境の保全を図ってまいります。

お問い合わせ

**NAA** 成田国際空港株式会社  
NARITA AIRPORT

**0570-000-955**  
(受付時間: 平日9:00~17:00[12/29~1/3を除く])

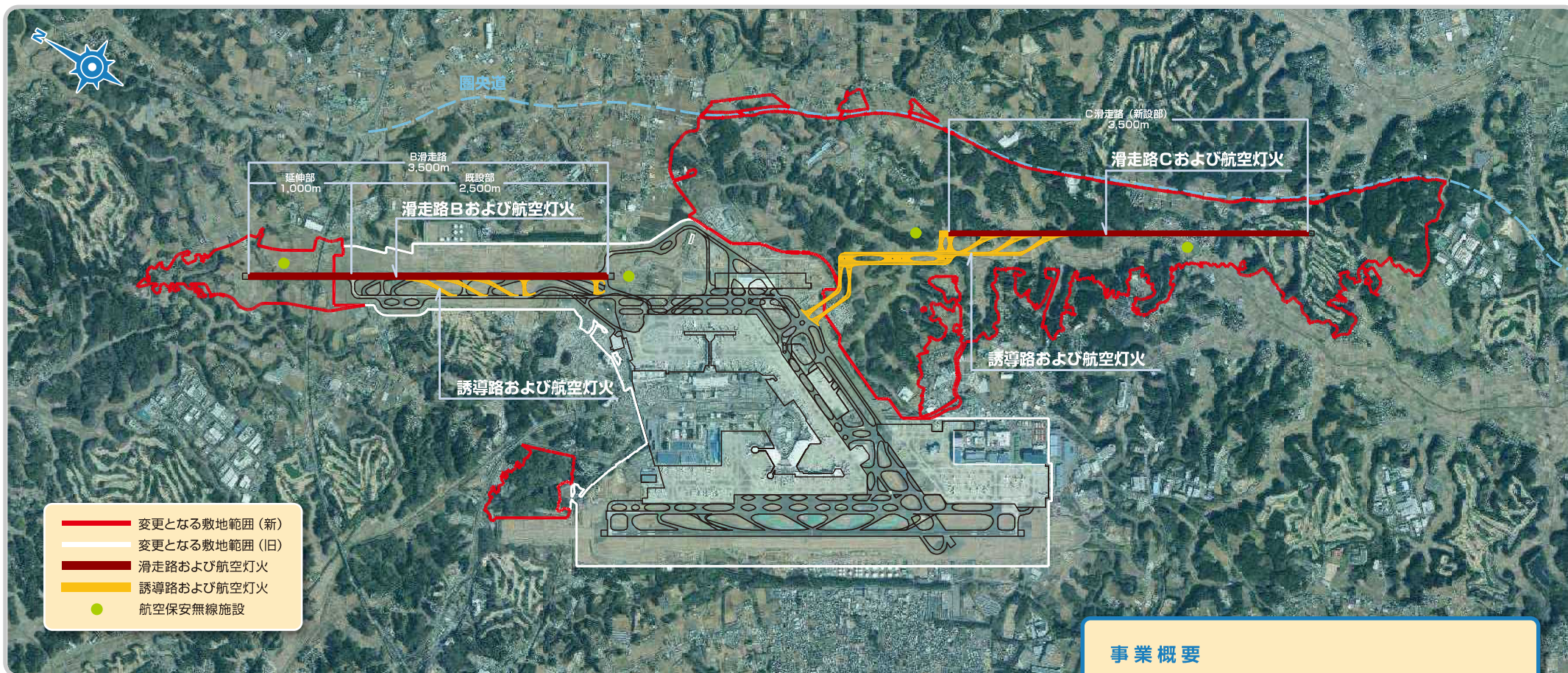
下記ホームページでは成田空港の更なる機能強化の詳細についてご覧いただけます。  
[www.narita-kinoukyouka.jp](http://www.narita-kinoukyouka.jp)



**NAA** 成田国際空港株式会社  
NARITA AIRPORT

# 更なる機能強化の概要及び 現地調査について

NAAは、成田空港の年間発着容量を現状の30万回から50万回まで拡大することができるC滑走路の新設・B滑走路の延伸等といった「成田空港の更なる機能強化」について、2019年11月7日に航空法に基づく空港等変更許可申請を国土交通大臣に行い、2020年1月31日に許可をいただきました。新たに空港敷地となる範囲及び新たな滑走路等（C滑走路の新設、B滑走路の延伸、誘導路の新設、航空保安施設）は下図のとおりです。下図の各種調査を進め整備計画を具体化して参りました。



## 事業概要

- **事業目的**：成田空港の年間発着容量を50万回に拡大するために以下の整備を実施する。
- **工事内容**：B滑走路延伸（滑走路長2,500m⇒3,500m）  
C滑走路新設（滑走路長3,500m）  
誘導路新設（7,471m）  
空港敷地拡張1,099ha拡張（現状1,198ha⇒2,297ha）
- **航空保安無線施設・航空灯火**：一式
- **工事完成予定期日**：2029年3月31日まで

## 現在実施中の現地調査



埋蔵文化財調査



用地取得に向けた現地調査



土質調査及び測量調査

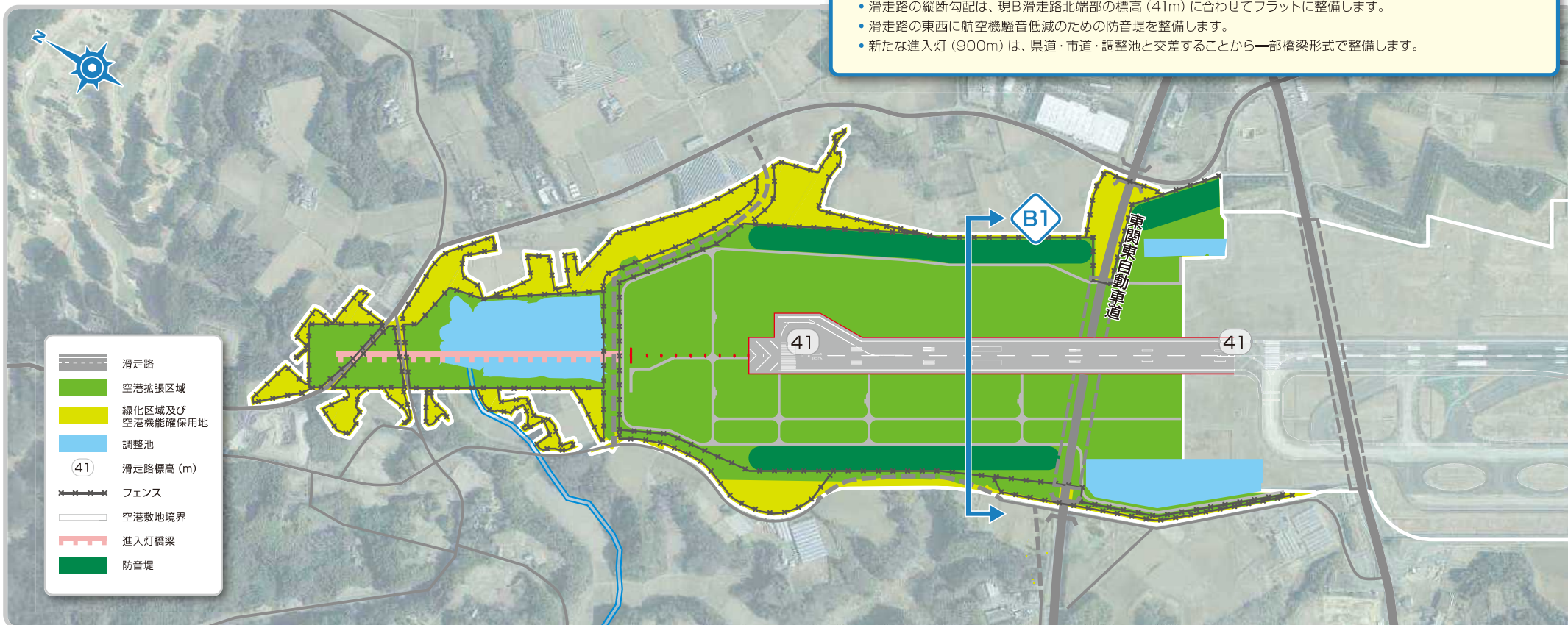


環境保全措置

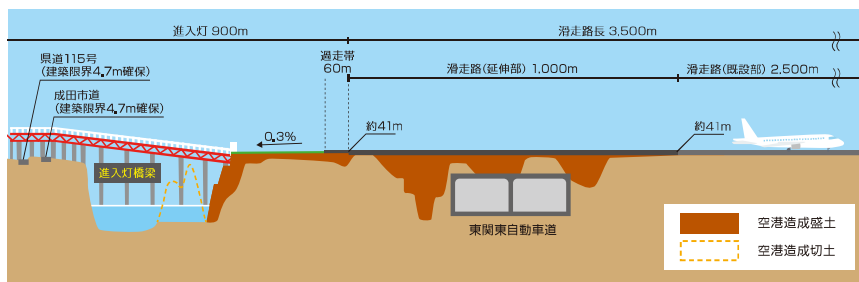
# B滑走路地区 (空港整備計画)

## B滑走路地区：空港整備計画の概要

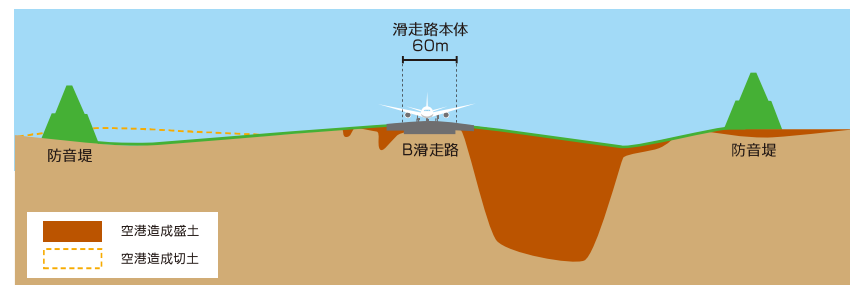
- 現在のB滑走路を北側に1,000m延伸し、延長3,500m、幅員60mの滑走路を整備します。
- 滑走路の縦断勾配は、現B滑走路北端部の標高(41m)に合わせてフラットに整備します。
- 滑走路の東西に航空機騒音低減のための防音堤を整備します。
- 新たな進入灯(900m)は、県道・市道・調整池と交差することから一部橋梁形式で整備します。



滑走路縦断面



滑走路横断面

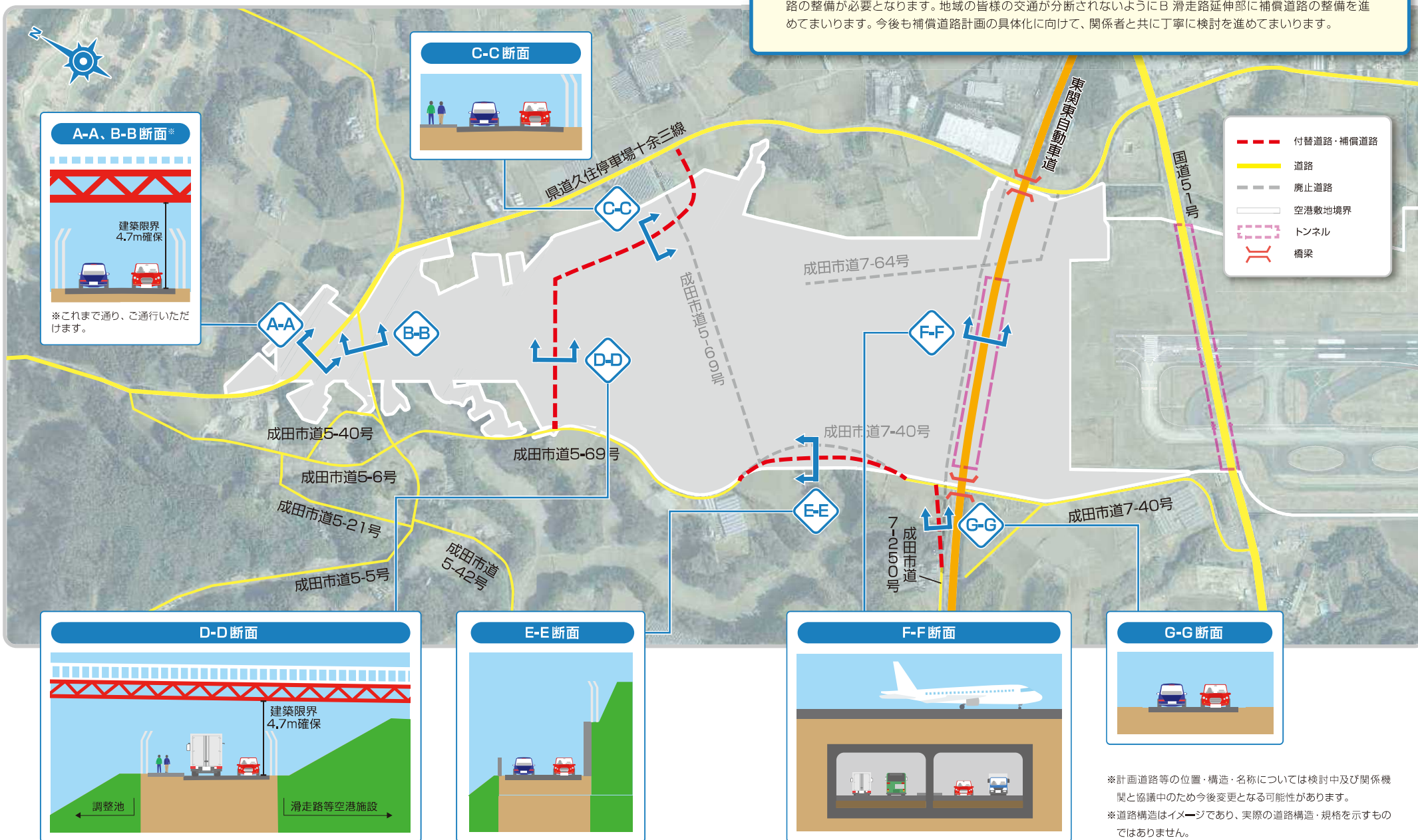


※縦断面と横断面はイメージであり、実際の寸法とは異なります。  
 ※道路構造はイメージであり、実際の道路構造・規格を示すものではありません。

# B滑走路地区（付替・補償道路計画）

## B滑走路地区：付替・補償道路計画の概要

- B滑走路延伸に伴う敷地拡張により、下図のとおり東関東自動車道のトンネル化や成田市道の廃止及び補償道路の整備が必要となります。地域の皆様の交通が分断されないようにB滑走路延伸部に補償道路の整備を進めてまいります。今後も補償道路計画の具体化に向けて、関係者と共に丁寧に検討を進めてまいります。



**A-A、B-B断面\***

建築限界  
4.7m確保

※これまで通り、ご通行いただけます。

**C-C断面**

**D-D断面**

調整池

建築限界  
4.7m確保

滑走路等空港施設

**E-E断面**

**F-F断面**

**G-G断面**

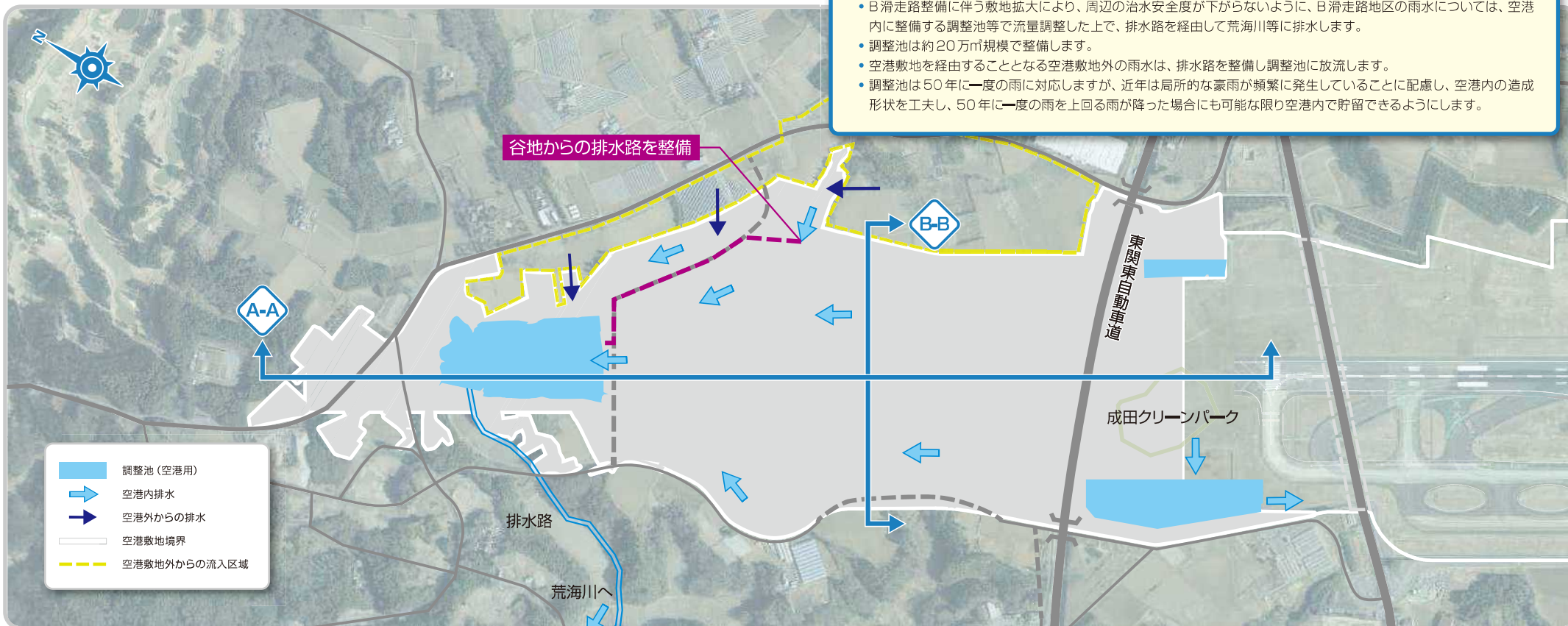
※計画道路等の位置・構造・名称については検討中及び関係機関と協議中のため今後変更となる可能性があります。  
 ※道路構造はイメージであり、実際の道路構造・規格を示すものではありません。  
 ※道路の整備時期については滑走路整備計画を踏まえて関係者と検討していきます。

# B 滑走路地区 (雨水排水等計画)

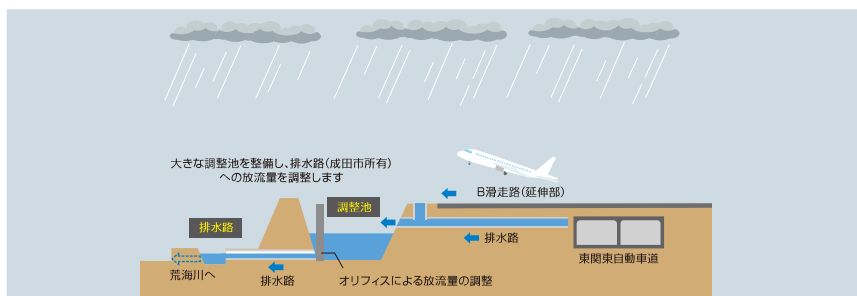
## B 滑走路地区：雨水排水等計画の概要

### (雨水排水施設の整備)

- B滑走路整備に伴う敷地拡大により、周辺の治水安全度が下がらないように、B滑走路地区の雨水については、空港内に整備する調整池等で流量調整した上で、排水路を經由して荒海川等に排水します。
- 調整池は約20万㎡規模で整備します。
- 空港敷地を經由することとなる空港敷地外の雨水は、排水路を整備し調整池に放流します。
- 調整池は50年に一度の雨に対応しますが、近年は局所的な豪雨が頻繁に発生していることに配慮し、空港内の造成形状を工夫し、50年に一度の雨を上回る雨が降った場合にも可能な限り空港内で貯留できるようにします。

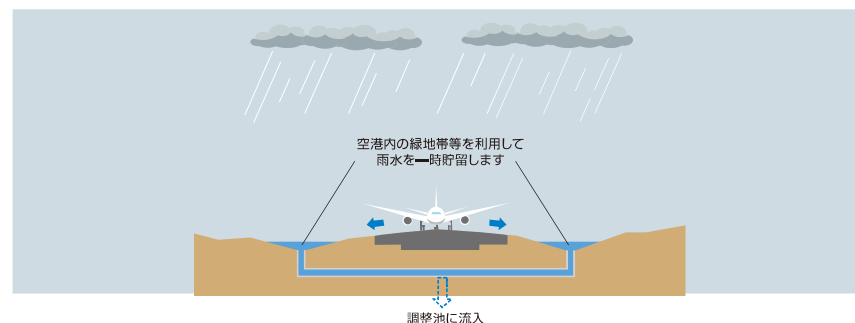


A-A 断面



※断面図はイメージであり、実際の寸法とは異なります。

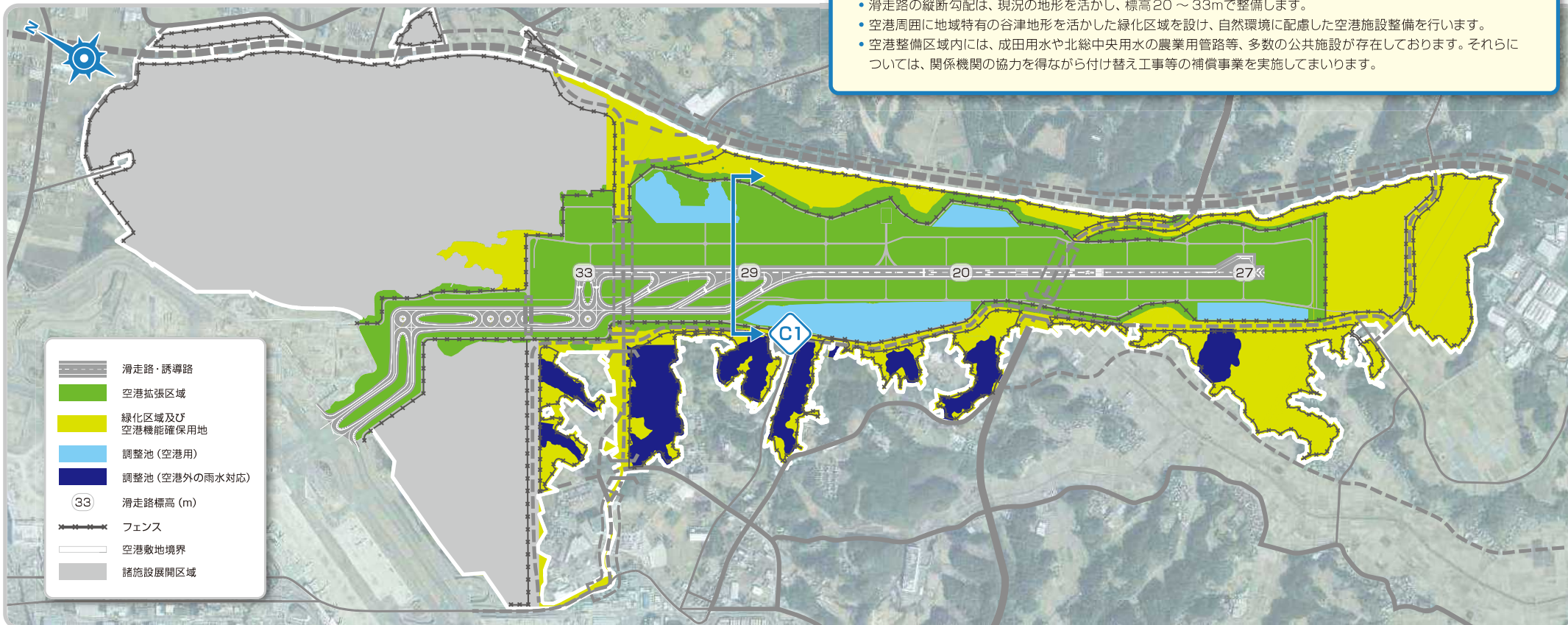
B-B 断面



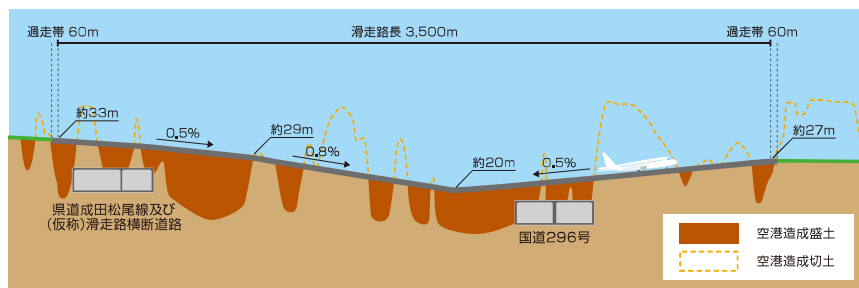
# C 滑走路地区 (空港整備計画)

## C 滑走路地区：空港整備計画の概要

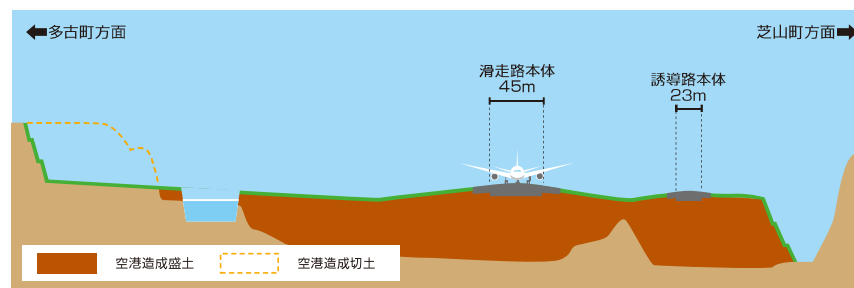
- 延長3,500m、幅員45mの滑走路、延長約6,200m、幅員23mの誘導路を整備します。
- 滑走路の縦断勾配は、現況の地形を活かし、標高20～33mで整備します。
- 空港周囲に地域特有の谷津地形を活かした緑化区域を設け、自然環境に配慮した空港施設整備を行います。
- 空港整備区域内には、成田用水や北総中央水の農業用管路等、多数の公共施設が存在しております。それらについては、関係機関の協力を得ながら付け替え工事等の補償事業を実施してまいります。



縦断計画図

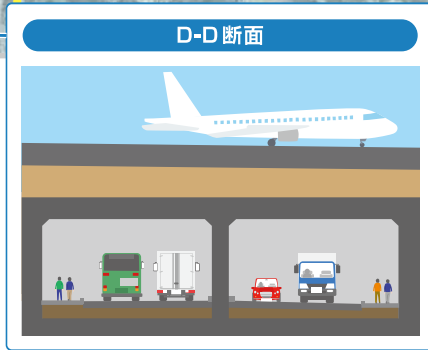
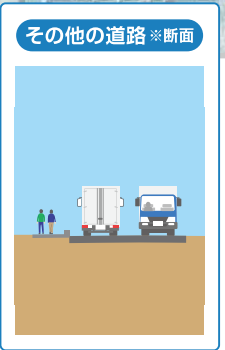
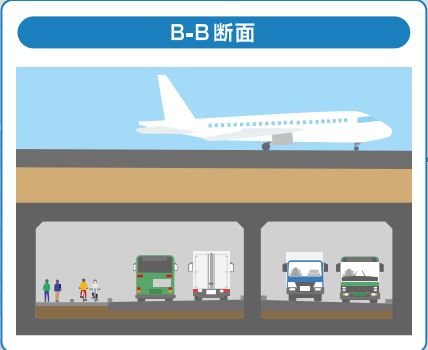
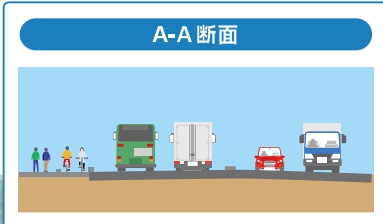


横断計画図



※縦断図と横断図はイメージであり、実際の寸法とは異なります。  
※道路構造はイメージであり、実際の道路構造・規格を示すものではありません。

# C滑走路地区 (付替・補償道路計画)



## C滑走路地区：付替・補償道路計画の概要

- C滑走路整備に伴う敷地拡張により、多くの多古・芝山町道等の廃止及び付替が必要となります。地域の皆様の交通が分断されないように、付替・補償道路の整備を進めてまいります。
  - 多古・芝山町道等の機能の付け替えとして、東西方向用、南北方向用の道路を整備することを基本的な考え方としています。
- 東西方向のアクセス機能の付け替え**  
 ①県道成田松尾線及び(仮称)滑走路横断道路 ②国道296号 ③C滑走路南側管理用道路
- 南北方向のアクセス機能の付け替え**  
 ④圏央道東側多古町補償道路 ⑤高谷川付近芝山町補償道路【(仮称)高谷川沿い道路】  
 ⑥C滑走路外周道路 ⑦管理用道路
- 今後も付替・補償道路計画及び関連する道路への接続の具体化に向けて、関係者と共に丁寧に検討を進めてまいります。



付替道路・補償道路・管理用道路	空港敷地境界
道路	圏央道と空港を直接結ぶ動線
廃止道路	トンネル
	橋梁

※芝山千代田駅付近は、芝山町道I-9号線を現況通り利用可能(但し、施工中一部規制あり)

※計画道路等の位置・構造・名称については検討中及び関係機関と協議中のため今後変更となる可能性があります。

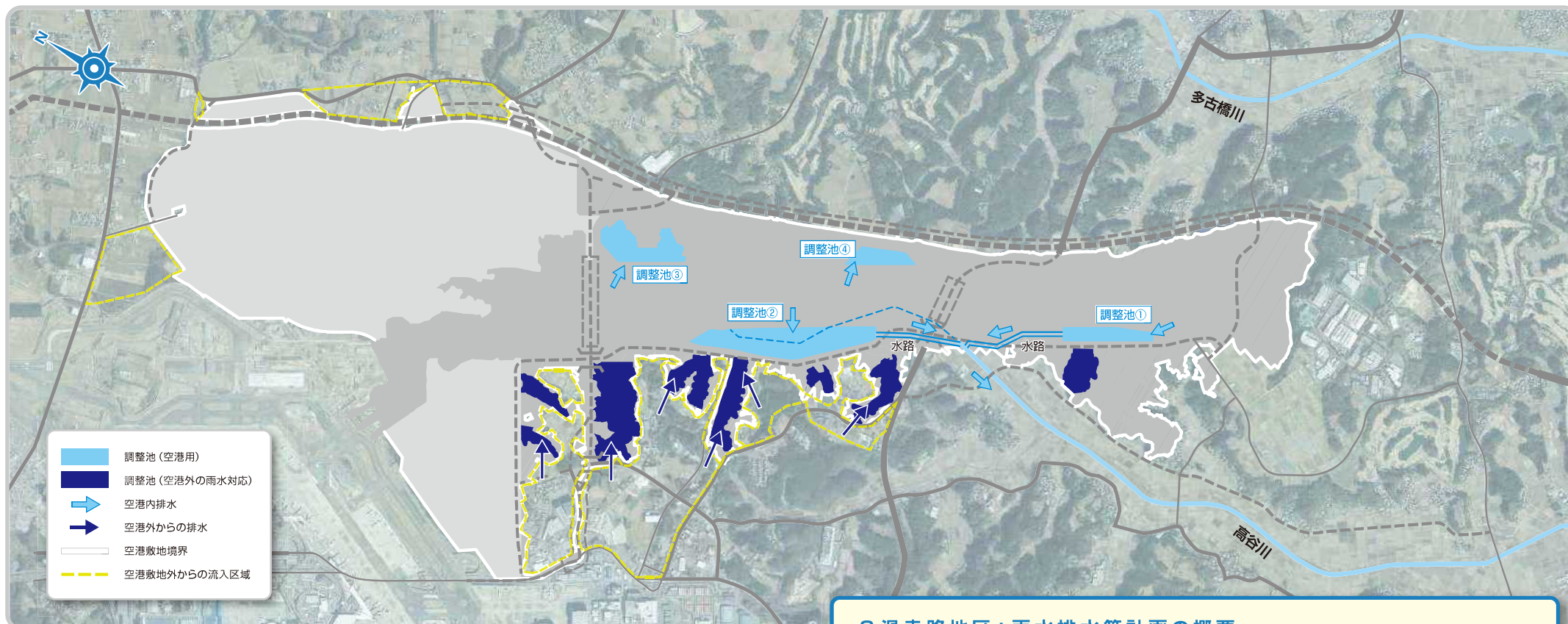
※道路構造はイメージであり、実際の道路構造・規格を示すものではありません。

※新規ICについては、実現に向けて関係者で検討していくこととしていますが、位置も含めて検討中であり、設置は未定。

※道路の整備時期については滑走路整備計画を踏まえて関係者と検討していきます。

※その他の道路断面とはA-A、B-B、C-C、D-D断面を付していない付替・補償道路断面。

# C 滑走路地区 (雨水排水等計画)

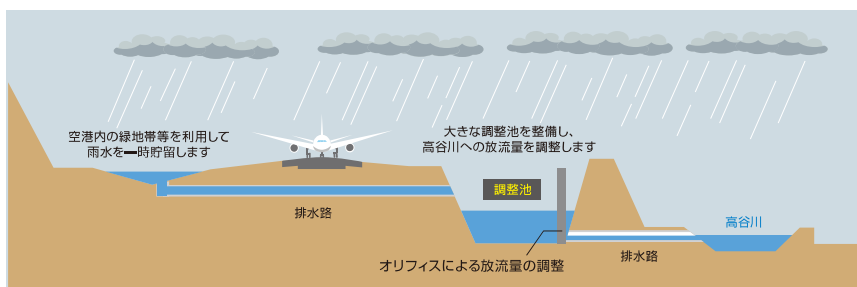


## C 滑走路地区：雨水排水等計画の概要

### (雨水排水施設の整備)

- C滑走路整備に伴う敷地拡大により、周辺の治水安全度が下がらないように、C滑走路地区の雨水については、原則として空港内に整備する調整池等で流量調整した上で高谷川等へ放流します。
- 調整池は約130万㎡規模で整備します。
- 空港敷地を經由することとなる空港敷地外の雨水は、空港外の雨水対応のための調整池を経由し、空港内調整池に放流します。
- 空港外の雨水対応のための調整池は地域特有の谷津地形を活かした形状とし、動植物の生息・生育環境として整備、維持管理を行います。
- 調整池は50年に一度の雨に対応しますが、近年は局所的な豪雨が頻繁に発生していることに配慮し、空港内の造成形状を工夫し、50年に一度の雨を上回る雨が降った場合にも可能な限り空港内で貯留できるようにします。

### 調整池等による放流量の抑制



※断面図はイメージであり、実際の寸法とは異なります。



# 今後の工事の進め方 (B滑走路地区)



## 数量規模

### 東関東自動車道切り直し工事

- 延長：約1.2km
- 切土：約15万㎡
- 盛土：約6万㎡
- 側道：延長約1km
- 橋梁撤去：PC単純箱桁橋1橋、  
PC斜材付きπ型ラーメン橋1橋
- 橋梁設置：1橋(延長約50m)

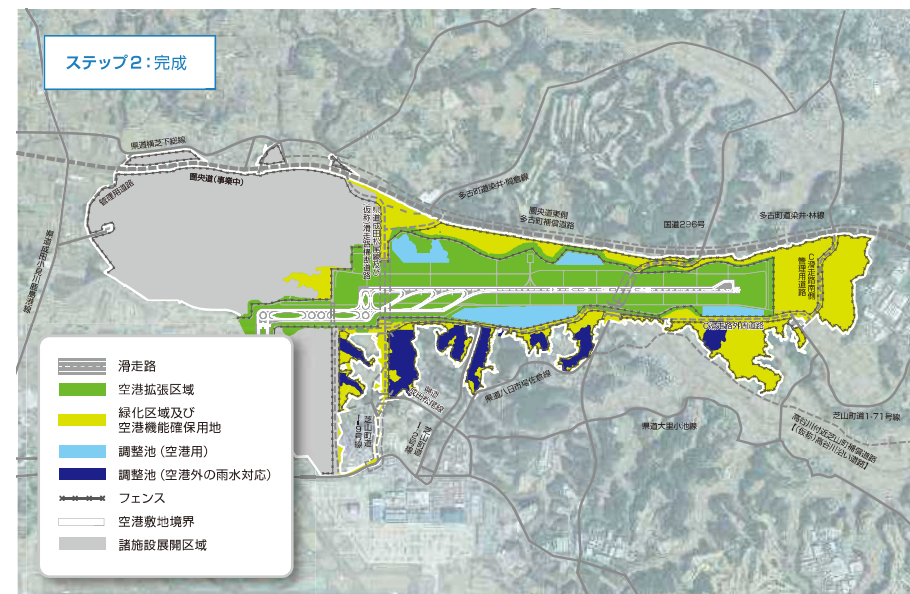
### 空港整備

- 用地造成工事：切土 約120万㎡  
盛土 約330万㎡
- 舗装工事：アスファルト合材量 約4万㎡  
砕石量 約8万㎡
- 排水施設：開渠延長 約6km、暗渠延長 約1.5km
- 調整池：3か所
- 場周柵：延長 約10km
- 東関東自動車道トンネル：延長 約430m
- 付替・補償道路：延長 約1.4km
- 進入灯橋梁：延長 約570m

# 今後の工事の進め方 (C滑走路地区)



ステップ1から



## 数量規模

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>高谷川排水整備工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>排水整備: 一式</li> </ul> <p><b>付替・補償道路整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滑走路横断道路: BOX 約580m程度</li> <li>国道296号付替え道路: BOX 約400m程度</li> <li>その他道路: 延長 約11km程度</li> </ul> | <p><b>空港整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用地造成工事: 切土 約1900万㎡<br/>盛土 約1600万㎡</li> <li>地盤改良工事: 約54万㎡</li> <li>舗装工事: アスファルト合材量 約14万㎡<br/>コンクリート量 約3万㎡<br/>砕石量 約44万㎡</li> <li>排水施設: 開渠延長 約17km、暗渠延長 約11km</li> <li>調整池: 4か所</li> </ul> |
|--|--|

# 環境保全計画

## 大気質の保全、騒音・振動の発生抑制

工事による大気汚染物質の排出、騒音・振動の発生を抑制し、周辺地域の生活環境への影響の低減を図ります。

### 粉じん等飛散防止

散水や車両のタイヤ洗浄により、砂ぼこり（粉じん等）の飛散を防止します。



散水状況

### 建設機械等の排出ガス対策

排出ガス対策型建設機械等の使用を徹底します。低炭素化工法を採用します（ICT（情報通信技術）の活用による省人化・高度化・効率化、重機台数の低減等）



排出ガス対策型建設機械のラベル例

### 工事用車両の走行ルートへの配慮

工事用車両は幹線道路にできる限り集中させ、生活道路への進入を回避するなどの配慮を行います。



工事用車両の走行状況

### 工事中の大気質モニタリング調査

工事区域周辺大気質の状況について、定期的にモニタリング調査を行います。高濃度発生時には、必要に応じて、工事作業中断・作業調整を行います。



大気質調査状況

## 水質・水文環境への配慮

空港周辺の河川等の水質の保全を図ります。

また、空港整備に伴う地形改変等による水の流れに関する影響についてモニタリング調査を実施して確認します。

### 濁水の流出防止

工事区域からの雨水排水は、水の濁りを極力減らしたうえで放流します。



沈砂池

### 工事中の水文環境モニタリング調査

空港周辺の水文環境の状況について、定期的にモニタリング調査を行います。



河川流量調査状況

## 景観や自然環境への配慮

造成面の早期緑化や緑地帯の整備により、景観や自然環境への影響の低減を図ります。

### 造成面の早期緑化

整備した造成面は、空港周辺の樹林等との景観調和等のため早期に緑化を実施します。



法面緑化（イメージ）

### 緑地帯の整備

滑走路周辺は芝による緑化を行い、緑地帯として整備します。



滑走路周辺の緑化

## 自然環境に配慮した空港施設整備

自然環境の改変を可能な限り小さくするとともに、貴重な動植物は工事の前に移植・移設します。また、周辺に残存する谷津環境の再生に取り組み、再生地を貴重な動植物の移植・移設先として活用します。

### 既存の自然環境を活かした施設整備（調整池等）

空港外の雨水対応のための調整池は、地域特有の谷津地形を活かした形状とし、可能な限り改変を減らして整備します。調整池内に残存する谷津環境は、動植物の生息・生育環境として整備、維持管理を行います。



谷津地形（イメージ）

### 貴重な動植物の移植・移設

貴重な動植物は、対象種の生態に配慮しつつ適切な時期に移植・移設を行います。



キンラン

アカハライモリ

### 空港周辺の谷津環境の再生

空港区域外に既に確保している谷津環境（グリーンポートエコ・アグリパーク、芝山水辺の里、騒音用地）の整備、維持管理を行います。管理不足の樹林や荒れた放棄水田に手を加え、谷津環境の動植物の生息・生育環境を再生します。



グリーンポート エコ・アグリパーク

MEMO


MEMO
